

みんなが読みやすいよう、本文の文字はUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。



所沢市立三ヶ島中学校 学校便り 令和7年 4月号 校長 阿部英貴



夢 ゆ た か

「自ら学ぶ生徒」 「心豊かな生徒」 「たくましく生きる生徒」

学校HPはこちらから

ようこそ、三ヶ島中学校へ！～令和7年度入学式・始業式より～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、上級生の皆さん、進級おめでとうございます。それぞれ中堅学年、最高学年として、学びに向かう力を高め、自分の夢を大きく育ててください。

今日から、総勢389名の生徒の皆さんが同じ学校の生徒となりましたが、こんなに大勢の人が同じ学校の生徒になるということは、実は沢山の偶然が重なっています

。公立学校の場合、子ども達が学校に通う年齢になると、住んでいる地域の学校への入学の手紙が保護者の方に届き、今日のような入学式を迎えます。生まれた年、その時住んでいる地域が違えば、この学校で一緒になることはなかったかもしれません。新しくクラスメートになったとか、出席番号の前後とか、席が隣とか、どれも些細な偶然ですが、よく考えると不思議な巡り合わせ、縁を感じます。

そもそも、学校のように、同じ年齢の人が集まって集団になり、同じことを学び生活するというのは、長い人生の中でかなり稀なことです。同じ年齢の人だけで作られている集団は、学校以外にはありません。社員が全員28才の会社とか、40才の人だけが住んでいるマンションとか、35才の人だけが住んでいる街なんか現実にはありません。

同じ服装をして、同じ教室で勉強をし、同じ給食を食べて…、同年齢で一緒に暮らしていると、自分以外の人も同じような感じ方、考え方をしているのかな、と思いがちですが、実際は全然違います。学校生活の中では、それぞれが色々、みんな違うということを実感してください。異なる感性や価値観や考え方の人から学び合ってください。こうしたことを「**多様性**」と言います。

学校では、皆さんはたまたま一緒にの車両に乗り合わせた電車のお客さんのようなものです。各々進みたいゴールがいつか見つかるでしょう。そこに向けて旅をする。決して電車に乗り続けることが目的ではありません。たまたま同じ車両に乗り合わせた人同士、お互いの自由を侵さないよう配慮しながら、気持ちよく旅を続けられたらいい。こうしたことを「**共生**」と言います。好き勝手な振舞いで人に嫌な思いをさせたりしない、困った時はさりげなく助け合いながら、楽しい会話を交わし、列車に揺られる旅です。無理に車両に押し込んだり、逆に強制的に途中下車させることはありません。安心してください。そうした心の安全のことを、「**心理的安全性**」と言います。そんな穏かで、だけど充実した旅を、今日から一緒にしていきましょう。【入学式・始業式 校長式辞要約】

最終下校時刻：17:30

4月の主な予定

| | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 7 (月) 準備登校 | 15 (火) 保護者会 (1年、5組) |
| 8 (火) 入学式、始業式 | 16 (水) 眼科検診、全国学テ (3年、理・質)、常任委員会 |
| 9 (水) 教科書配布、避難訓練 | 17 (木) 全国学テ (3年、国・数) |
| 10 (木) 給食開始、新入生オリエンテーション | 18 (金) 内科検診 (3年、5組) |
| 11 (金) 発育測定、保護者会 (2年、5組) | 22 (火) 内科検診 (1年)、13:30頃下校 |
| 14 (月) 心電図検査 (1年)、保護者会 (3年、5組) | 29 (火) 昭和の日 |